

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第3分科会		
テーマ	防犯・防災・ボランティア		
開催日	平成 26年 5月 9日	検討回数	第3回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

- ・分科会員で調査、収集した資料の配布、説明。
- ・資料をもとに、現状について議論を進める。

2. 今回の討議した内容(報告)

- ・高齢者ネットワークでは、協定締結者だけではなく、誰でも、個人でも団体でも通報が可能。
 - ・社会福祉協議会主催のボランティア講座について
ボランティアの問題点として、高齢化している、人材が集まらない等の問題がある。
講座の運営方法として、参加者を集まってもらうのではなく、人の居るところへ出向いて実施したほうがよいのではないか。
 - ・災害ボランティアセンターが9月に立ち上げられる。
 - ・防犯パトロールについて
散歩の時などに、パトロール用のベストなどを着用すれば、多くの人が参加でき、効果が大きくなるのではないか。
 - ・「ひやり、はっとマップ」(防犯地図)について
東小学校で授業の一環で作成した。地域のさまざまな団体が連携して作成すれば、内容の充実したものができるのではないか。(AEDの設置場所の標示など)
学校では、PTAと連携して、通学路の点検を実施している。
 - ・地域総合防災計画については、内容に住民、市の責務はあるが、区の取扱いがない。災害発生時には、区の役割が大きいので考慮の必要がある。
 - ・自主防災組織は、日頃から地域の住民と一緒に活動するものであるため、多くの団体での参加が望まれる。自主防災組織は、協働の中で重要な位置がある。
 - ・各地区で防災リーダーが必要。災害発生時のボランティアリーダーが必要なのではないか。
- 以上出された意見をもとに、さらに問題点の掘り下げを行う。

3. 次回の検討方針

- ・次回の検討会開催までに、各自で課題、改善案などを整理し、これを分科会員で共有し検討を進める。